

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（12月分）

留学先大学：ナポリ東洋大学

みなさん、明けましておめでとうございます。クリスマスが終わり年が明け、ついに東京オリンピックが開催される2020年になりました。留学していると自分が日本人であることを意識することが多いのですが、自分が生まれた国で世界中の人々が注目する大会が開催されるのは光栄だなと改めて感じており、夏が来るのが待ち遠しいです。

今はちょうど冬休み期間中なのですが、今回はその直前にあったイタリア語の試験も含めて紹介させていただこうと思います。年越しについては次回の1月分の報告書にて…

【イタリア語の試験について】

イタリア語の授業は週三回の短期集中型だったため、冬休みに入る直前に試験がありました。試験は、リスニング・リーディング・ライティング・スピーキングに分かれており、スピーキング以外の筆記試験は他の学生と一緒に受けました。最後のスピーキングの試験のみ先生と一対一で受けるのですが、過去に留学されていた先輩が「自分の番が来るまで5時間ほど待った」とおっしゃっていたのでどれくらい待たないといけないのだろうと心配していたものの、今回はそれほど時間がかからなかったので良かったです。自分の番が来るまでは、一緒に待っていた学生と試験で質問されそうなことを予想してスピーキングの練習をしていたのですが、おかげで緊張がほぐれ、試験でも手応えを感じられたので一安心です。

また、このイタリア語の授業を通してスピーキングの重要性を改めて感じることができました。たとえ読み書き出来ても話せなかったら…実際に使えなかったら意味がないと思うからです。日本では語学の授業の試験は大抵の場合スピーキングは含まれていませんが、ナポリ東洋大学の語学の授業はイタリア語をはじめ、日本語、ドイツ語、スペイン語など学年末試験を受けて次のレベルに行くためには筆記試験だけでなく口頭試験も受けなければなりません。語学は試験に合格すること自体が目的になってしまいがちですが、最終的にはそれを実際に使えるようになることが目的であるべきだと思います。口頭試験の時間はそれほど長くはないものの、学年末試験に口頭試験が含まれていると予め分かっていたら日ごろから話そうとする意識も強くなると思うので、センター試験はさておき、日本の高校や大学は口頭試験も語学の試験に含めた方がよいのではないかと感じました。

【クリスマスについて】

12月下旬から1月上旬にかけて約2週間の冬休みがあるのですが、最初の5日間はドイツに旅行しに行きました。日本ではクリスマスは恋人と過ごすイメージが強いものの、私が知っている限りではアメリカ、ドイツ、イタリアなど海外では家族と過ごすのが一般的なよ

うです。そのため、冬休みが始まってすぐに地元へ帰省する現地の学生が多く、学校がある時のようにイタリア人の友人たちとしばらく気軽に会えなくなるのは少し寂しかったです…笑

冬休みの最初の5日間はドイツに旅行してきました。最終目的地はドイツ北部にあるハンブルクで、そこで夏に参加したサマースクールで出会ったドイツ人の友人と再会し、福井大学からヨーロッパに留学している同級生のみんな（私含めて8人）と合流することになっていたのですが、ハンブルクに行く前に時間があつたので南ドイツへ行ってきました。

ドイツといえばクリスマスマーケットですが、中でもニュルンベルクで開かれているものが世界最大で有名だと知りそこへ行きました。さすが世界最大と言われるだけあって現地の人だけでなく海外からの観光客も多く、大勢の人々で賑わっていました。クリスマスマーケットでは、グリューワインと呼ばれるホット赤ワインを飲むのが定番のようだったので、赤ワインは少し苦手なものに興味本位で頼んでみたのですが、思っていたより飲みやすく美味しかったです。冬のドイツは凍えそうなくらい本当に寒かったのですが、おかげで心も身体もあたたまりました。

そして最終目的地のハンブルクではドイツ人の友人や福井大学のみんなと無事合流でき、楽しいひと時を過ごせました。いつもは福井で会っていたみんなとドイツという異国の地でそれぞれの留学先から合流するというのは不思議な感じがしましたが、みんなそれぞれの地で目標を持って頑張っていることが分かり、留学と一言でいっても色んなかたちがあるのだなと感じました。



ニュルンベルクで飲んだグリューワイン。2ユーロのデポジットがあるのですが、コップが欲しい場合は持ち帰り可能です！お店によってデザインが異なるので、お土産としてもおすすめです。



ハンブルク市庁舎前のクリスマスマーケット。売られているものはどこも似ていますが、都市によってクリスマスマーケットのお店のデザインや雰囲気が異なるので、それを比べるのも面白いです。

イタリアのナポリにはドイツのようなクリスマスマーケットはないものの、スパッカナポリという有名な通りを中心にクリスマス雑貨が売られており、民家も含め至る所でイルミネーションが点灯しているのでクリスマスの雰囲気を十分に楽しめます。

イタリアではパンドーロと呼ばれるものがクリスマスに食べられる定番のお菓子なのですが、結構大きいのに3～5ユーロで買えるのでおすすめです！味はシフォンケーキに似ているのですが、食感はそれより少ししっかりしていて色んな味があるのでチョコチップ入り、ドライフルーツ入り（パネットーネ）など自分好みのものを選びます。安くて美味しいので日本にいる家族や友人にもぜひ食べてもらいたかったのですが、お土産として日本に持って帰るには少し大きすぎるので、残念ですがそれは諦めます…笑

月例報告書というよりも食レポのようになってしまいましたが、クリスマスの時期限定の食べ物って特別感があっていいですね。クリスマスを海外で過ごすのは高校生の時からの夢だったので、ドイツとイタリアの人々がどのようにクリスマスを過ごしているのか身を持って知れて嬉しく思います。そしてこの留学も気づいたら折り返し地点をとっくに過ぎていたので時間の流れの早さに自分でも驚いています。一日一日を大切にしながら残りの日々を有意義に過ごしていきたいと思います。



クリスマス菓子のパネットーネ。
チョコチップ入りにしました。写真では伝わりづらいですが、とても大きいのでシェアして食べるのがおすすめです。